

汚泥処理

高効率二段焼却炉

省エネルギーと温室効果ガス削減を両立した次世代の汚泥焼却炉

下水汚泥焼却炉は二酸化炭素（CO₂）や一酸化二窒素（N₂O：CO₂の310倍の温室効果）等の、温室効果ガスの排出源となっており、その削減は重要な課題です。

当社神鋼環境ソリューションは30年以上にわたる下水汚泥焼却の豊富な実績と優れたプラントエンジニアリング能力を駆使し、省エネルギーと温室効果ガス削減の両立を達成した次世代の汚泥焼却炉「高効率二段燃焼炉」を開発しました。

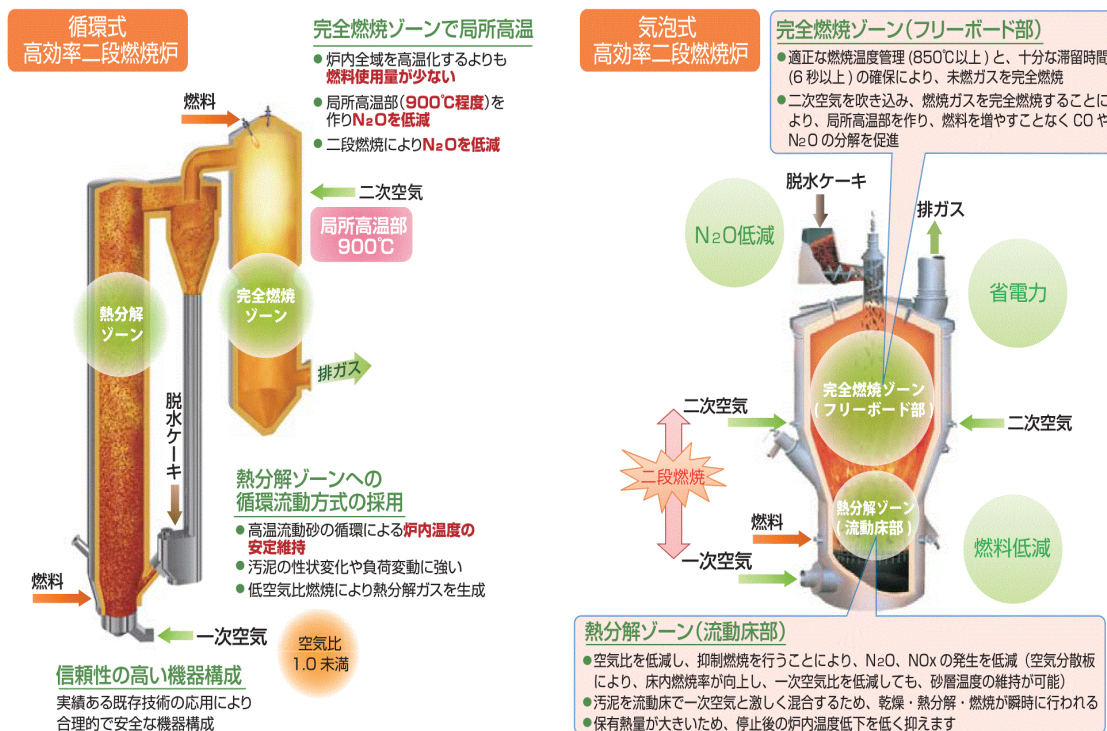


特長

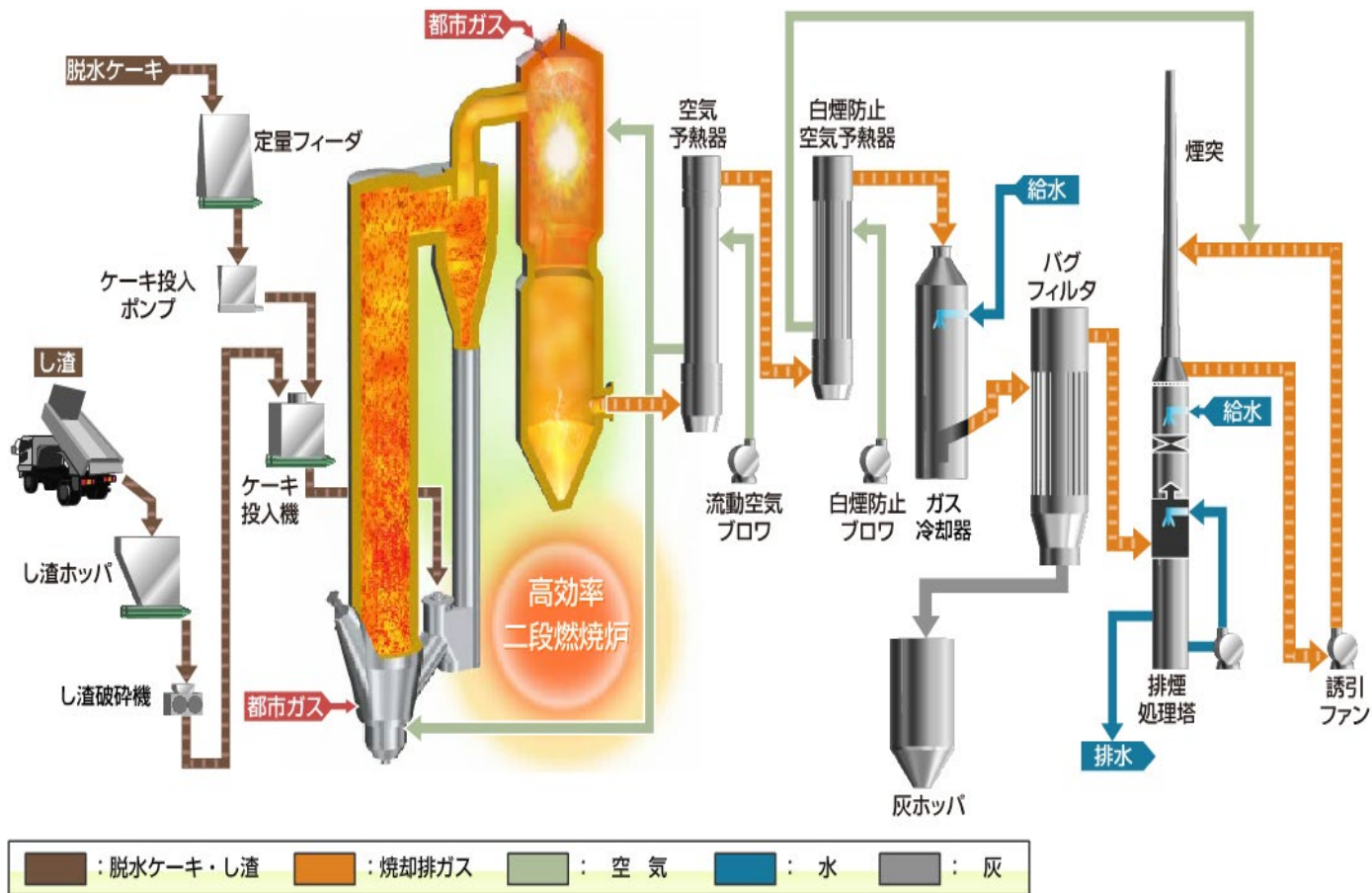
- 二段燃焼により低燃費で下水汚泥を焼却
- 従来炉（流動焼却炉（気泡炉・循環炉））と比較してN₂Oを削減割合を、気泡式は5割以上、循環式は8割以上削減可能
- 省エネルギー、温室効果ガス削減を両立

原理

熱分解ゾーンにおいて、空気比を低減し、抑制燃焼を行うことにより熱分解ガスを生成し、温室効果ガスの発生を低減します。完全燃焼ゾーンにおいて、空気を吹き込み燃焼ガスを完全燃焼することにより、局所高温部を作り、燃料を増やすことなくCO₂やN₂Oを低減します。



循環式高効率二段燃焼炉システムフロー図



高効率二段燃焼炉以外は従来 of 下水汚泥焼却設備と同じ